



第68回 日大スポーツ医学勉強会

日時：2020年1月18日(土) 14:00~19:30

会場：日本大学病院 5F 大会議室 東京都千代田区神田駿河台1-6

参加費：4,000円、(看護師エコーワークショップのみ 2,000円) 参加募集人数：100名

テーマ：少し複雑な運動器疼痛患者の診察の心得

プログラム

座長：洞口（日本大学病院整形・スポーツ整形 診療准教授）

■看護エコーセミナー

14:00 - 15:00

看護領域におけるエコーの活用未来（ミニワークショップ含む）

小林只先生 弘前大学医学部附属病院総合診療部

(看護師ポケットエコー教育コースPELSの開発者)

■特別企画セミナー

15:30 - 16:30

講演1：エコー診療でその痛み見逃しません！-膝関節内の痛み・関節外の痛み-

谷掛洋平先生 谷掛整形外科副院長（運動器エコースペシャリスト）

16:30 - 17:30

講演2：全人的整形外科医療の目指すもの“Doctor as a Medicine”

-運動器疼痛増悪因子である心理的問題のマネジメントなど-

喜山克彦先生 喜山整形ハーブクリニック院長（心療内科医・整形外科専門医）

17:30 - 18:30

講演3：外来診療における医療従事者のための倫理観とパフォーマンス力

佐藤綾子先生 ハリウッド大学大学院教授（パフォーマンス学専門家）

18:30 - 19:30

講演4：エコー×ファシア×自律神経×問診で不定愁訴を紐解く

～”むち打ち症”を例に～

小林只先生 弘前大学医学部附属病院総合診療部（Fascia研究の第一人者）

日本整形外科学会教育研修単位認定

講演1: [2]外傷性疾患（スポーツ障害を含む） [12] 膝・足関節・足疾患

講演2: [14-4] 専門医としての人間性並びに社会性向上に資する講習会

医師患者間のコミュニケーションに関する講演

講演3: [14-3] 医療倫理

医師・患者関係の倫理（インフォームドコンセント、同意能力など）

講演4: [8] 神経・筋疾患（末梢神経麻痺を含む）

事前登録

勉強会の参加には事前登録が必要となります。QRコードを読み取り、グーグルフォームへの登録をよろしくお願いいたします。下記スポーツ班ホームページのリンクからも登録可能です。

<http://nichidai-sports.com/index.html>



第 68 回日大スポーツ医学勉強会 特別企画セミナー趣旨

テーマ：『少し複雑な運動器疼痛患者の診察の心得』

開催期日：2020 年 1 月 18 日(土) 14:00-19:30

開催場所：日本大学病院 5F 大会議室

〒101-8309 東京都千代田区神田駿河台 1-6

参加予定人数：100 名

参加費：看護領域のエコー・ミニワークショップ参加費 2000 円

※看護師の方はセミナーをそのまま聴講いただけます。

参加費：特別企画セミナー参加費（看護領域のエコー・ミニワークショップ含む）4000 円



事前申し込み用
QR コード

【セミナー企画背景・内容】

近年、超音波診断装置（エコー）が目覚ましいスピードで進歩・普及してきています。運動器領域の診察においても、エコーを用いた診察と治療方法により、原因不明やメンタルの問題と考えられていた疼痛の原因が本当は局所にあったということが判明してきています。そしてエコーガイド下ハイドロリリースなどの治療手技で、それらの症状を治せることも次々と報告されてきています。さらにエコーを使用した診察スタイルは、CT や MRI などの画像診断の出現普及に伴い疎かにされつつあった、医師が古来より患者を診察する際に最も重要な診察手段の一つとしてきた“触診”を凶らずもとり戻す状況をもたらしました。その結果、医師と患者のコミュニケーションの質を向上させるという効用も生じております。

他方、看護領域においてもエコーの必要性は既に広く認識されておりますが、現状は看護師がエコーに触れる機会はまだ十分とは言えません。しかし患者状態の可視化や医療安全の確保といった観点からも、できるだけ早く普及させる必要があるものと考えられております。

本企画では、まずエコービギナーの看護師を中心に、看護現場におけるエコーの現状と将来性をわかりやすく解説していただきます。ポケットエコーに触れてもらうミニワークショップを予定しております。セミナーでは、谷掛先生に、エコーを使用した新しい視点の診察と治療についてお話頂きます。喜山先生には、エコーで診察していてもなお心因性の原因がその痛みの増悪因子となっている場合もありますので、その様な場合の診察の方法と心得をお話頂きます。佐藤綾子先生（日大芸術学部元教授、医師のためのパフォーマンス学入門著者）には、根拠ある診察がさらに素晴らしいものとなるように、良好な医師・患者関係を築くためのコミュニケーションの方法をお話頂きます。最後小林先生に、整形外科医が苦手とする領域でもある自律神経の絡む不定愁訴（様）の診察治療について、問診・診察・エコーを統合的に用いたアプローチについて、セミナーの総括も含めお話いただく予定です。